

# 孫子老

第 57 号

平成31年 1月28日発行

社会福祉法人よこた福祉会

島根県仁多郡奥出雲町稲原57-1

TEL (0854) 52-2567(代)

FAX (0854) 52-2568

E-mail : yokohu-1@jeans.ocn.ne.jp

http://yokota.or.jp

介護老人福祉施設むらくも苑  
短期入所生活介護事業所  
デイサービスセンターほのほの  
デイサービスセンターにここ

通所型サービスねむの会  
ヘルパーステーションたんぽぽ  
よこた福祉会居宅介護支援事業所  
短期集中リハビリ事業

## 新年のごあいさつ

理事長 山内博文

新年明けましておめでとうございます。地域の皆様方におかれましては、幸多き初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素は、よこた福祉会に対し、ひとかたならぬご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は世相を表した漢字が「災」であったように日本各地で地震、豪雨等による自然災害が発生し甚大な被害を受けた一年でありました。被害や犠牲に遭われた皆様に対し衷心よりお見舞いとご冥福をお祈りいたします。あらためて自然の猛威に恐ろしさを感じたところあり、早期の復興や防災の強化を願うものであります。一方、今年五月には新天皇の即位があり新しい時代が始まるうとしています。平成からどのような元号になるのか楽しみであり希望に

満ちた明るい時代が迎えられることを期待しています。

さて、介護サービスの業界もめまぐるしく変化をしています。昨年四月、医療・介護の報酬改正が行われ制度の充実が図られているところですが、介護については三年毎に改正が行われ、その都度、事業者は制度の趣旨に応じたサービスの提供を行っています。ただ、ご利用者やご家族の皆様には、複雑で分かりにくいといった点もあり、できるだけ理解しやすく将来の介護に不安のない地域で安心して暮らせる制度であってほしいと願っています。また、近年多くの企業で人材の確保が難しい状況となっておりありますが介護事業でも同様な状況であり、頭を悩ましていらっしゃるのです。人材不足の一因と

員の待遇の低さがあり、国においても、今年十月からの消費税アップ分を財源として介護職員等の賃金改善がなされることとなりました。事業者においてもこの政策は心から願うものであり、当法人においても最大限努力し、職員処遇の向上を図りたいと考えております。

そして、中山間部においては、人口減少、少子高齢化が顕著となる中、二〇二五年問題、そして団塊のジュニア世代が高齢者となる二〇四〇年問題等益々社会保障政策の重要性は高まり、地域包括ケアシステムの更なる機能向上と充実に努めることが必要であります。介護分野において、その一翼を担うことは当法人の使命であり日々精進しなければならぬことと感じております。

今後も地元で介護を必要とされる皆様のご期待に応え、地域福祉の発展に寄与して行く所存ですので変わりますようお願いを申し上げます。して新年のごあいさつと致します。

# 孫子老まつりを振り返って

平成三十年十月二十一日に毎年恒例の孫子老まつりを開催しました。皆様のおかげをもちまして今年で三十二回目を迎えることが出来ました。今年は例年になく快晴となり、大変多くの皆様にご来場いただきました。

メイン会場では横田幼稚園の皆さんの可愛らしい歌声からステージ演目が始まり、藤原一座さん、仁多まいずさん、仁多乃

が出来たことに感謝致します。また、横田高校、島根リハビリテーション学院、松江総合医療専門学校、松江総合医療専門学校の学生さんや一般の皆様にご協力いただき、盛大に孫子老まつりをおこなう事が出来ました。本当にありがとうございます。

今後とも地域の皆様と共に、地域に根ざした法人となりますよう職員一同一層の努力を重ねてまいります。

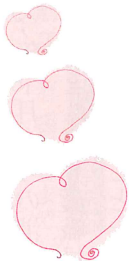
## 寄付のお礼

日本生命労働組合様より社交流活動の一環として福祉用具をいただきました。

むらくも苑にて大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



この他にも大変多くの方より心のこもったご寄付、寄贈を頂きました。大切に活用させていただきます。ありがとうございます。



## 事業所紹介

特別養護老人ホーム

### むらくも苑

「今日も口の体操を始めます。」の掛け声と共に、むらくも苑では昼食前に口腔体操をおこなっています。この口腔体操は食事に必要な口、舌、頬の筋肉を刺激し、唾液の分泌を促すことで、食物を飲み込みやすくしむせたりせずおいしく食事がたべられることを目的にしています。取り組みを始めた当初は、声の出にくさや恥ずかしさもあって、なかなか利用者様の大きな声を聞くことが出来ませんでした。しかし、今では昼食前の恒例の体操となり職員の声掛けと共に、利用者様の大きな声も聞かれるようになりました。この時間は口腔体操だけでなく季節や地域の行事などを話し、身近な話題で和やかな時間にもなっています。

もますますお元気に過ごして頂く為に、介護・看護・栄養・訓練・相談等それぞれの職種が連携を図りケアの提供をおこなうと共に、各関係機関との連絡を密におこなうことで利用者様の日々の健康管理に努めています。今後も、利用者様やご家族様とのコミュニケーションを取りながら、「良かったな」「うれしいな」と感じて、頂ける一瞬を大切に一つでも多くの希望や要望に応えるべく職員一丸となり取り組みんでいきたいと思えます。また、安心でき、安全で穏やかな生活を送れるようサービス提供に努めていきたいと思えます。



## 職員募集

社会福祉法人よこた福祉会では職員（看護師、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員等）を募集しております。福祉サービスや地域交流などを通して、喜びを感じられる仕事です。転職・Uターンをお考えの方は是非ご応募ください。有資格者や経験者は優遇いたします。

また、日勤帯での臨時やパートの職員も資格の有無にかかわらず、随時募集しております。子育て中の方も安心してお勤めいただけます。ご応募お待ちしております。

募集についてのお問い合わせは法人事務局人事担当までお電話下さい。

特別養護老人ホーム  
むらくも苑

電話 0854-52-21697



社会福祉法人よこた福祉会 | 特別養護老人ホーム | 障害者支援事業 | 通所介護事業 | 訪問介護事業 | 福祉介護支援事業 | 地域貢献事業

社会福祉法人  
よこた福祉会  
YOKOTA WELFARE SOCIETY



よこた福祉ではホームページを公開しています。

《掲載内容》

- ・各事業所の情報
  - ・各事業所で行った行事の様子
  - ・職員ブログ
- など

ぜひ、ご覧下さい!!



## 介護者教室を開催しました

昨年十二月二日(日)にデイサービスセンターほのぼのを会場とし、介護者教室を行ないました。今回は公益事業推進会主催のオレンジカフェ奥出雲(認知症カフェ)との合同開催とし、八名の皆様にご参加頂きました。

この介護者教室は、日頃の介護を通して家族が感じておられる思いやサービスに対する意見などを直接お聞きすることで、日々の業務に当たる職員にとつて励みになる大切な時間であり、また介護者同士の交流を持てる貴重な時間として開催させて頂きました。

当日は職員も含めた自己紹介から始めやかな雰囲気の中、ご家族の須山博子様より実際の介護体験についてお話し頂きました。とてもしっかりとご家族を支えておられた御母堂様の認知症発症を通しての介護体験の中で、デイサービスへ出掛けるようになられてからの表情や発言の変化、そして須山様御自身の気持ちの変化等細かく話して頂きました。特にデイサービスと

連絡ノートで情報交換をする

中、介護の辛い心情を記入された内容に対して、職員からの返事に救われたこと、また御母堂様の体調の変化に対してすぐ連絡をもらったおかげで受診ができ、その後の対応がスムーズに進められたことに感謝しておられること等具体的にお話頂きました。普段は朝夕の短い送迎時間での関わりですが、ご家族の発言や連絡ノートでの状況の報告がとても重要であり、改めてご家族との信頼を築ける普段からの関係作り、真摯に応える誠実さが大切だと感じました。

その後は日頃の介護についての思いや体験を通しての意見交換を行い、理学療法士による認知症予防につながる指体操の紹介、看護師からの感染症予防の話など二時間があつという間に終わりました。

今後この会が参加者にとって貴重な交流や意見交換の場となり、地域のニーズに応えられるよう私たち職員にとっては気づき、学びの場となるよう計画させて頂きたいと思えます。

## ウエスの寄贈と

### ボランティアのお願い

よこた福祉会ではウエスが大変不足しています。(ウエスとは、布を小さく切ったもので、使い捨てのふきんとして大切に使用しています。)ご家庭でご不要になりましたタオル類やシャツ類がございましたら、ご連絡下さい、取りにうかがいます。

ボランティアの皆様や職員により裁断させて頂きウエスに生まれ変わります。

### ○綿素材系

×ナイロン系統の吸水しない物

また、ボランティアの受入れも行っております。皆様の趣味や特技を生かして利用者様と楽しく過ごして下さる方を求めています。

お気軽にむらくも苑までお問い合わせください。

例えば・・・

○利用者様の話し相手

○職員では相手にならない強者(利用者様)の囲碁・将棋のお相手

○車椅子の清掃

○窓拭き ○点茶

○楽器演奏など



## 孫子老サポート隊

### 活動報告

「地域の活動を応援したい!」との思いからスタートした当法人の地域貢献事業『孫子老サポート隊』も十年が経過しました。

今年度は旭自治会、大市自治会、馬木健康クラブの皆様からの依頼を受け、健康体操教室や介護についての話をさせて頂きました。

これまで培ってきた技術や知識を、地域の皆様の生活に役立てて頂ければと思っております。

町内どこでも出張いたします。どうぞ、『孫子老サポート隊』をご活用ください。

## 編集後記



私は寒いのは苦手ですが、敷地内に植えてある南天の実が着くこの時期を毎年楽しみにしています。雪に映える赤い南天の実、露が光る葉の色合いがとても美しく、季節の彩りになってくれています。それを見ながら、これからも少しずつ移り行く季節を、利用者さんと一緒に楽しみたいと思えました。まだまだ寒さも続きますが、皆様ご自愛下さいませ。

## お問い合わせ・ご意見は

広報紙 孫子老 担当者まで

TEL (0854)52-2567(代)

FAX (0854)52-2568